



2020 年 12 月、NCLH は米国の空気浄化技術企業 AtmosAir Solutions と提携し、運航する 28 隻の全船に継続的なウイルス除去機能を備えた空気浄化システムを導入することを発表しました。この取り組みは、同社が展開する 3 つのブランド（ノルウェー・クルーズライン、オセアニア・クルーズ、リージェント・セブンシーズ・クルーズ）の乗客および乗組員の安全を確保し、パンデミック下においても安心して旅ができる環境づくりを目的としています。

#### 導入される「バイポーライオン化技術」とは

導入されるシステムは、AtmosAir の特許技術であるバイポーライオン化 (bi-polar ionization) によるものです。この技術は、空調システム内にイオンを発生させ、空間全体に放出することで空気中および表面に存在するウイルスや細菌、カビ、揮発性有機化合物 (VOC) などと化学的に結合し、それらの細胞構造を破壊して無害化します。

特徴的なのは、空気がフィルターを通して浄化される従来型とは異なり、空気が滞留する空間そのものに直接作用する点です。そのため、広い船内でも効率よく浄化が可能です。

#### 検証と効果

この技術の有効性は、世界的に認められた検査機関 Microchem Laboratory によって実証済み。COVID-19 ウイルスに対しても高い不活化性能が確認されており、化学薬品や放射線などを一切使用せず、環境にも優しい自然由来の手法として注目されています。副産物や残留物も発生しないため、乗客やスタッフの健康面でも安心です。

#### すでに導入されている施設と信頼性

AtmosAir の技術はすでに世界中で 7500 以上の施設に導入されており、空港、ホテル、カジノ、スポーツ施設、教育機関、医療機関などさまざまな場所で活用されています。クルーズ船という密閉性が高く人の出入りが多い環境においては、特に空気の安全性が重視されるため、この技術の導入は大きな意味を持ちます。

#### 企業戦略としての意義

NCLH はこの空気清浄技術の採用を、衛生基準の向上だけでなく、業界全体の信頼回復の一助として位置づけています。乗客にとって快適で安全な空間を提供することは、クルーズ旅行の需要回復に不可欠であり、企業イメージの向上にもつながる重要な施策です。

#### 今後の展望

この技術導入は、今後納入予定の新造船にも順次拡大していく計画が示唆されており、NCLH の持続可能性や先進的な衛生対策への投資として、同業他社との差別化要因にもなっています。